

# 2019年度 事業報告書

2019年4月9日～2020年3月31日

特定非営利活動法人 Earth as Mother 三重

## 1 事業実施の概略

特定非営利活動法人 Earth as Mother 三重は、三重県松阪市を中心として活動。

未来の子ども達が安全で安心して食せるおいしい作物づくりを中心とした真農業の推進と、地球環境にやさしいコミュニティを創造することを大目標に据え、活動初年度として、小規模ではあったが各種イベントを通じて活動理念の普及や賛同者を着実に得ることを目的に実施した。

環境セミナーを通じて、当会理念や活動に対する賛同者を得ることができた。

持続可能なライフデザインを知る・学ぶ・伝えあう事を目的とした学習交流会「さすていな道場」を開催し、食と心と健康、地球と人の相関関係の講義や、生活の中で出来る健康づくりの実践事例の紹介、半農半就の田舎暮らし実践者による持続可能な暮らしの紹介を行った。

「大豆から育てる無農薬味噌づくり」を、食農・食育イベントとして大豆の定植・管理・収穫・味噌づくりの4回シリーズで実施。農薬、化学肥料、除草剤を一切使用しない野菜作物の育て方を伝授、お菓子や豆腐づくりのワークショップ等も行った。また、味噌作りを通じて、日本の伝統食の伝承の必要性を参加者へ伝えた。

年末の感謝祭では、完全オーガニック作物での餅つき、水炊きを行った。共食の楽しさを体感いただけたと共に、大自然の恵みに感謝する機会となった。

日本の伝統林業見学会では、今では珍しくなった伝統方式での林業の現場のみならず、実際の現場作業の一部を見学。機械化された大規模林業のデメリットや、山を源とした大自然の循環の仕組みを学べる機会となった。

活動報告やイベント告知には、ホームページと Facebook ページを設置。会員には不定期でメールニュースの配信も行った。また、イベントチラシを作成し、公共施設や市内の自然食品店等に設置した。

各事業の具体的な内容としては、定款の目的を達成するため、次の事業を実施する。

- ① 自然再生と環境の保全活動を支援する事業
- ② 保健、医療、福祉及び健康促進事業を支援する事業
- ③ 有機循環自然農法の推進と全循環型福祉コミュニティを構築する事業
- ④ 安全で安心して食せる食育を推進する事業
- ⑤ 異業種産業情報・交流を支援する事業

## 2 事業の実施に関する事項（特定非営利活動に係る事業）

### ① 自然再生と環境の保全活動を支援する事業

#### （ア）事業内容

総会後に、会員およびスタッフの意識向上、当会理念の普及と活動紹介、新会員の増加を目的に、環境セミナーとして第1・2回マザリーアースプロジェクトセミナーを実施。当会が掲げるマザリーアースプロジェクトの説明を行った。目的、実践・実行に向けての講話やESD、SDGs勉強会を行った。

第1回目には基調講演としてNPO法人アースアズマザー岐阜・副理事長の雲英頭一氏による岐阜支部の活動紹介を行った。農事や生活困窮者自立支援事業などの先進的な事例は、産声をあげたばかりの三重支部にとって、大いに刺激となった。

その後、三重支部独自の達成目標と、市民団体時代の活動事例の紹介を行い、参加者に賛同を呼び掛けた。

学習・交流イベント「さすていな道場」第2回では、持続可能なコミュニティづくりの取り組みを進める上で、参加者及び関わるスタッフの意識の底上げ及び啓発は重要だとの考えから、理事長、副理事長の2人が講師となり、学習・交流イベント「さすていな道場」として実施している当会活動の理念、具体的達成目標、実施事業についての講義を行った。

また、自らが実践している半農半就ベースの田舎暮らしについて、農業、健康づくり、DIYでの家の管理、機織り、衣類染色等のリアルな経験を写真付きで詳しく紹介した。事業内容を共有する事で、参加者の理解及び周知、共感を得た。

#### （イ）自然再生と環境の保全活動を支援する事業 環境セミナー

##### （1）開催日および講師等

| 事業名<br>(定款に記載した事業)               | 具体的な事業内容   | 実施日時               | 実施場所             | 従事者の人数  | (1)受益対象者の範囲<br>(2)人数                 | 事業費の額<br>(単位：円) |
|----------------------------------|--|--------------------|------------------|---|--------------------------------------|-----------------|
| ①自然再生と環境の保全活動を支援する事業<br>(環境セミナー) | 第1回マザリーアースプロジェクトセミナーを開催。岐阜支部の取り組み紹介とアースアズマザーグループの理念、活動紹介および三重支部活動紹介。 | 2019年<br>4月<br>14日 | 松阪市市民活動センター 外会議室 | 7人<br>理事長<br>市川美奈<br>スタッフ6人<br>講師<br>理事<br>村野政章<br>一般1人 | (1)会員<br>(2)参加者数15人<br>会員11人<br>一般4人 | 17,899円         |

|                                  |  |                     |                              |   |  |        |
|----------------------------------|--|---------------------|------------------------------|---|--|--------|
| ①自然再生と環境の保全活動を支援する事業<br>(環境セミナー) | 持続可能なライフデザインを知る・学ぶ・伝えよう学習交流会「さすていな道場」第2回を開催。半農半就の田舎暮らし実践者の具体的生き方を紹介。 | 2019年<br>7月<br>14日  | コスモソフ<br>ィア研究所               | 5人<br>理事長<br>市川美奈<br>副理事長<br>市川真大<br>スタッフ3人           | (1)会員<br>(2)参加者<br>数3人<br>会員1人<br>一般2人 | 3,500円 |
| ①自然再生と環境の保全活動を支援する事業<br>(環境セミナー) | 第2回マザリーアースプロジェクトセミナーを開催。アースアズマザリーグループの理念、活動紹介                        | 2019年<br>10月<br>27日 | 松阪市市民<br>活動センタ<br>ー 外会議<br>室 | 3人<br>理事長<br>市川美奈<br>副理事長<br>市川真大<br>講師<br>理事<br>村野政章 | (1)会員<br>(2)参加者<br>数1人<br>会員0人<br>一般1人 | 3,570円 |

## (2) 総費用 (無償ボランティア 15人)

総合計 24,969円

(内訳)

### ●第1回マザリーアースプロジェクトセミナー

- ・ 諸謝金 (事業) 15,700円
- ・ 消耗品費 (事業) 159円
- ・ 賃借料 (事業) 2,040円

### ●第2回さすていな道場

- ・ 賃借料 (事業) 3,500円

### ●第2回マザリーアースプロジェクトセミナー

- ・ 賃借料 (事業) 3,570円

## (3) 収益

総合計 13,500円

(内訳)

### ●第1回マザリーアースプロジェクトセミナー

- ・ 参加費 7,500円 (500円 x 15人)

### ●第2回さすていな道場

- ・ 参加費 一般 (中学生以上) 4,000円 (2,000円 x 2人)
- ・ 参加費 会員 1,500円 (1,500円 x 1人)

### ●第2回マザリーアースプロジェクトセミナー

- ・ 参加費 一般 (中学生以上) 500円 (500円 x 1人)

・参加費 会員

0円（ 0円 x 0人）

#### （4）反省点・改善ポイント

セミナー開催の告知不足により参加者を多く募れなかった。今後草の根的に活動を広げていくために、広報については会員等の協力をお願いする必要性が感じられた。



## ② 保健、医療、福祉及び健康促進事業を支援する事業

### （ウ）事業内容

持続可能なライフデザインを知る・学ぶ・伝えあう学習交流会「さすていな道場」第3回を、弊会の理事で、NPO 法人アースアズマザー（愛知県）副理事長の村野政章氏を講師に招き実施。食と心と健康、地球と人の相関関係の講義や、ご自身が Sustainable（持続可能）な生き方として実践されている「食・息・動・想・環」の考え方の根本や、言葉づかいと心の関係性など、生活の中で出来る健康づくりの実践事例が紹介された。

広く深い内容だったので、参加者から喜びと次回開催を期待する声が寄せられた。

(エ) 保健、医療、福祉及び健康促進事業を支援する事業 医療健康

(1) 開催日および講師等

| 事業名<br>(定款に記載した事業)                 | 具体的な事業内容  | 実施日時               | 実施場所                | 従事者の人数  | (1)受益対象者の範囲<br>(2)人数                | 事業費の額<br>(単位：円) |
|------------------------------------|---|--------------------|---------------------|---|-------------------------------------|-----------------|
| ②保健、医療、福祉及び健康促進事業を支援する事業<br>(医療健康) | 持続可能なライフデザインを知る・学ぶ・伝えあう学習交流会「さすていな道場」第3回を開催。食と心と健康、地球と人の相関関係の講義と、生活の中で出来る健康づくりの実践事例を紹介。 | 2019年<br>9月<br>29日 | 松阪市市民活動センター<br>外会議室 | 6人<br>理事長<br>市川美奈<br>スタッフ4人<br>講師<br>理事<br>村野政章 | (1)会員<br>(2)参加者数11人<br>会員7人<br>一般4人 | 3,570円          |

(2) 総費用 (無償ボランティア6人)

総合計 3,570円

(内訳)

・賃借料 (事業) 3,570円

(3) 収益

総合計 18,500円

(内訳)

・参加費 一般 (中学生以上) 8,000円 (2,000円 x 4人)

・参加費 会員 10,500円 (1,500円 x 7人)

(4) 反省点・改善ポイント

セミナー開催の告知不足により参加者を多く募れなかった。集客方法の改善を図り参加しやすいセミナーを開催していく。

③ 有機循環自然農法の推進と全循環型福祉コミュニティを構築する事業

(オ) 事業内容

市民団体としての昨年度から通算2度目となる「大豆から育てる無農薬味噌作り」全4回シリーズの第1回として「大豆定植イベント」を開催。当会副理事長が講師となり、農具を使って畑の畝を整地するところから説明を開始。整地後に大豆を直播し、苗を作っていたものを定植した。大豆の品種、種類に関する説明と、大豆栽培の全体的な流れの講義を行っ

た。

第2回として「大豆のお世話イベント」を開催。除草、土寄せの作業を行った。

また講義も行い、土づくりの方法や生えている雑草での土の状態の見分け方についてなど知識を提供した。

第3回として、「大豆の収穫イベント」を開催。収穫及びはざがけ作業を実施。

実際の作業体験をすることで、一次産業の現場を知り、生産の第一段階を経験することが出来た。栽培から収穫するまでの体験をすることで、食農への関心が高まった。

農作業体験については、松阪市内の遊休農地を利用し、農薬・化学肥料・除草剤を一切使わない有機循環自然農法による圃場にて、自然に癒され、日々の疲れのリフレッシュにもなる農作業ボランティアを不定期で募集。作業は時期により様々な体験の実施予定だったが、今年度は告知不足のため参加者を得る事が出来なかった。

## (カ) 有機循環自然農法の推進と全循環型福祉コミュニティを構築する事業 食農

### (1) 開催日および講師等

| 事業名<br>(定款に記載した事業)                       | 具体的な事業内容  | 実施日時               | 実施場所       | 従事者の人数                             | (1)受益対象者の範囲<br>(2)人数                        | 事業費の額<br>(単位:円) |
|--|---|--------------------|------------|------------------------------------|---|-----------------|
| ③有機循環自然農法の推進と全循環型福祉コミュニティを構築する事業<br>(食農) | 大豆から育てる味噌づくりシリーズの大豆定植イベントを実施。有機循環自然農法による大豆栽培の第1歩となる播種、苗の定植を講義つきで実践した。 | 2019年<br>6月9日      | 松阪市柚原町内の圃場 | 6人<br>講師<br>副理事長<br>市川真大<br>スタッフ5人 | (1)会員<br>(2)参加者数10人<br>会員4人<br>一般6人         | 560円            |
| ③有機循環自然農法の推進と全循環型福祉コミュニティを構築する事業<br>(食農) | 大豆から育てる味噌づくりシリーズの大豆のお世話イベントを実施。有機循環自然農法による大豆管理を講義つきで実践した。             | 2019年<br>8月<br>18日 | 松阪市柚原町内の圃場 | 7人<br>講師<br>副理事長<br>市川真大<br>スタッフ6人 | (1)会員<br>(2)参加者数14人<br>会員5人<br>一般8人<br>子供1人 | 560円            |

|  |  |                     |            |                                    |  |      |
|--|--|---------------------|------------|------------------------------------|--|------|
| ③有機循環自然農法の推進と全循環型福祉コミュニティを構築する事業<br>(食農) | 大豆から育てる味噌づくりシリーズの大豆収穫イベントを実施。有機循環自然農法で育てた大豆を手刈りし、はざかけまでの体験を講義つきで行った。         | 2019年<br>11月<br>10日 | 松阪市柚原町内の圃場 | 6人<br>講師<br>副理事長<br>市川真大<br>スタッフ5人 | (1)会員<br>(2)参加者<br>数9人<br>会員4人<br>一般4人<br>子供1人 | 0円   |
| ③有機循環自然農法の推進と全循環型福祉コミュニティを構築する事業<br>(食農) | 農作業体験ボランティアを随時実施。有機循環自然農法の推進の取り組みとする一方、将来のコミュニティの担い手づくりとして参加者とのコミュニケーションを図る。 | 今年度の<br>実施は<br>無し   | 松阪市柚原町内の圃場 |                                    |  | 742円 |

### (2) 総費用 (無償ボランティア 19人)

総合計 1,862円

(内訳)

#### ◆味噌づくりシリーズ

・保険料 (事業) 1,120円

#### ◆農作業ボランティア

・広告宣伝費 (事業) 550円

・通信運搬費 (事業) 119円

・支払手数料 (事業) 73円

### (3) 収益

総合計 21,125円

(内訳)

#### ◆味噌づくりシリーズ参加費

・一般大人 シリーズ参加 (中学生以上) 13,500円 (2,250円 x 6人)

・小学生 シリーズ参加 1,125円 (1,125円 x 1人)

・一般大人 単発参加 (中学生以上) 1,000円 (1,000円 x 1人)

・会員 単発参加 750円 (750円 x 1人)

・スタッフ 単発参加 4,750円 (250円 x 19人)

◆農作業ボランティア 参加費無料 0円 (0円 x 0人)

#### (4) 反省点・改善ポイント

大豆から味噌づくり第2回は、枝豆試食をする予定だったが、寒冷地や天候不良等のためか枝豆生育のタイミングがイベント実施時と合わず、枝豆試食自体が実施できなかった。



#### (キ) 事業内容

衣の伝統技術の保存を目的とし活動している上から、藍染の研究を行っている。その上で本事業をイベントとし、それを共有することで藍染を実施する共感者の募集や参加者への意識の向上、技術の共有を目的として開催予定だったが、本年度は雨天のため開催が中止とされた。

#### (ク) 有機循環自然農法の推進と全循環型福祉コミュニティを構築する事業 伝統技術の推進

##### (1) 開催日および講師等

| 事業名（定款に記載した事業）                                | 具体的な事業内容   | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数 | (1)受益対象者の範囲<br>(2)人数   | 事業費の額<br>(単位：円) |
|---|--|------|------|--------|------------------------|-----------------|
| ③有機循環自然農法の推進と全循環型福祉コミュニティを構築する事業<br>(伝統技術の推進) | 日本の衣の伝統技術推進のために本藍染体験を企画し、藍染液の研究を行ったが、雨天のため体験イベントは中止となった。 | 雨天中止 |      |        | (1)会員<br>(2)参加者数<br>0人 | 205円            |



## (2) 総費用

総合計 205 円

(内訳)

・通信運搬費 (事業) 205 円

## (3) 収益

総合計 0 円 (雨天中止のため)

## (4) 反省点・改善ポイント

染液を建てる事には成功したが、染まる状態の維持管理が難しく、研究の余地が有る。また、自家製のすくもで藍染めが出来るようになるための研究も実施していく。

## ④ 安全で安心して食せる食育を推進する事業

### (ケ) 事業内容

大豆から育てる味噌づくりシリーズの午後に食育ワークショップイベントを開催。

第1回の午後には、「味噌を使った簡単料理ワークショップ」を開催。安全安心の無農薬味噌を使用した料理体験を実施した。

第2回の午後には、「大豆のお世話イベントでのお菓子づくりワークショップ」を開催。子ども向けに無農薬の大豆、小麦、トウモロコシを使用したお菓子づくりを実施。

第3回の午後には、地元の手作り豆腐店にて、工場見学、豆腐の種類別の工程の説明、大豆の栄養講義を実施。お家で出来る簡単豆腐づくりを体験した。

最終回として、食育ワークショップ「育てた大豆での味噌作り」を開催。皆で収穫し選別した完全オーガニックの大豆を使って日本古来の発酵・健康食である本物の味噌を仕込んだ。

料理ワークショップ体験やお菓子作りを行うことで食育や手作りの大切さを伝えることができた

一年を通し参加者と共に作った大豆から味噌を作り、その達成感と感動を共有できた。

大自然の恵みへの感謝と本年度協力をいただいた方への感謝の思いを伝えるため、食育イベントとして「畑で大鍋感謝祭」を実施した。

完全オーガニックのもち米を蒸して餅をつき、それを皆で加工し食し、大鍋で水炊きをし、皆で創って、皆で食べる調理体験ワークショップおよび共食を実施。

餅つきを通して、昔ながらの食文化の体験を共有し木製の手作り道具を使っての火おこし体験を通じて災害時でも対応できる方法を伝えることができた。食を通じての学びを多く得られたとの感想が多く寄せられた。

(コ) 安全で安心して食せる食育を推進する事業 食育

(1) 開催日および講師等

| 事業名<br>(定款に記載した事業)           | 具体的な事業内容   | 実施日時                | 実施場所                  | 従事者の人数  | (1)受益対象者の範囲<br>(2)人数                            | 事業費の額<br>(単位：円) |
|------------------------------|--|---------------------|-----------------------|---|---|-----------------|
| ④安全で安心して食せる食育を推進する事業<br>(食育) | 大豆から育てる味噌づくりシリーズの中で、安全安心の無農薬味噌での料理ワークショップを実施。                        | 2019年<br>6月9日       | 松阪市柚原町29番地<br>(当会事務所) | 6人<br>理事長<br>市川美奈<br>スタッフ5人                         | (1)会員<br>(2)参加者数<br>10人<br>会員4人<br>一般6人         | 1,200円          |
| ④安全で安心して食せる食育を推進する事業<br>(食育) | 大豆から育てる味噌づくりシリーズの中で、安全安心の無農薬大豆で作る簡単お菓子づくりを実施。                        | 2019年<br>8月<br>18日  | 松阪市柚原町29番地<br>(当会事務所) | 7人<br>理事長<br>市川美奈<br>スタッフ6人                         | (1)会員<br>(2)参加者数<br>14人<br>会員5人<br>一般8人<br>子供1人 | 0円              |
| ④安全で安心して食せる食育を推進する事業<br>(食育) | 大豆から育てる味噌づくりシリーズの中で、豆腐屋での豆腐づくり体験を実施。体験の中で豆腐での健康づくりの講義を行った。           | 2019年<br>11月<br>10日 | 松阪市阪内町219<br>うーやん亭    | 6人<br>理事長<br>市川美奈<br>スタッフ5人<br>講師<br>うーやん亭店主<br>谷口様 | (1)会員<br>(2)参加者数<br>9人<br>会員4人<br>一般4人<br>子供1人  | 5,000円          |
| ④安全で安心して食せる食育を推進する事業<br>(食育) | 大豆から育てる味噌づくりシリーズの最終回に、育てた無農薬大豆での味噌づくり体験を実施。昔ながらの発酵食づくりの健康に対する役割を伝えた。 | 2020年<br>2月<br>23日  | 松阪市柚原町29番地<br>(当会事務所) | 2人<br>講師<br>理事長<br>市川美奈<br>スタッフ1人                   | (1)会員<br>(2)参加者数<br>9人<br>会員2人<br>一般6人<br>子供1人  | 25,644円         |

|                              |  |                     |                         |                             |   |         |
|------------------------------|--|---------------------|-------------------------|-----------------------------|---|---------|
| ④安全で安心して食せる食育を推進する事業<br>(食育) | 年内収穫物を加工体験して食す感謝祭を実施。安全安心の餅米での餅つき、大鍋づくりのワークショップを行い、食の有難みを参加者同士で共有した。 | 2019年<br>12月<br>16日 | 松阪市柚原町29番地<br>(当会事務所の庭) | 6人<br>理事長<br>市川美奈<br>スタッフ5人 | (1)会員<br>(2)参加者数<br>19人<br>会員9人<br>一般6人<br>子供4人 | 16,755円 |
|------------------------------|--|---------------------|-------------------------|-----------------------------|---|---------|

## (2) 総費用 (無償ボランティア 27人)

総合計 48,599円

(内訳)

### ●大豆から味噌づくりシリーズ

<第1回>

・仕入 (材料費) 1,200円

<第2回> 0円

<第3回>

・仕入 (材料費) 5,000円

<第4回>

・通信運搬費 (事業) 1,520円

・仕入 (材料費) 23,200円

・消耗品費 (事業) 924円

(キッチンタオル、食品ラップ、漬物袋、麻ひも)

### ●畑で大鍋感謝祭

・仕入 (材料費) 8,845円

(野菜、ポン酢、きな粉、もち米)

・広告宣伝費 (事業) 1,210円

・通信運搬費 (事業) 1,252円

・支払手数料 (事業) 161円

・消耗品費 (事業) 3,847円

(白用の蓋、皿、フードパック、保温アルミシート、火おこし体験材料)

・賃借料 (事業) 880円

・保険料 (事業) 560円

## (3) 収益

総合計 86,215円

(内訳)

### ◆味噌づくりシリーズ参加費

- ・一般大人 シリーズ参加（中学生以上） 22,500 円 (3,750 円 x 6 人)
- ・小学生 シリーズ参加 1,875 円 (1,875 円 x 1 人)
- ・一般大人 単発参加（中学生以上） 1,000 円 (1,000 円 x 1 人)
- ・一般大人 味噌作り回単発（中学生以上） 6,000 円 (2,000 円 x 3 人)
- ・会員 単発参加 750 円 ( 750 円 x 1 人)
- ・スタッフ 単発参加 5,250 円 ( 250 円 x 21 人)

◆味噌づくりシリーズ材料費

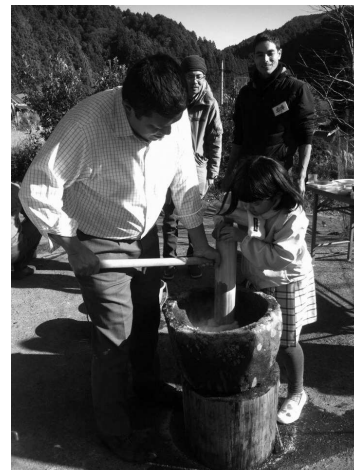
- ・米麴、大豆、塩 26,400 円 (3kg 分 2,200 円 x 12 セット)
- ・米麴、大豆 2,140 円 (3kg 分 2,140 円 x 1 セット)
- ・大豆のみ 800 円 (3kg 分 800 円 x 1 セット)

◆感謝祭参加費

- ・一般大人（中学生以上） 9,000 円 (1,500 円 x 6 人)
- ・会員 3,000 円 (1,000 円 x 3 人)
- ・スタッフ 6,000 円 (1,000 円 x 6 人)
- ・小学生 1,500 円 ( 500 円 x 3 人)
- ・幼児 0 円 ( 0 円 x 1 人)

(4) 反省点・改善ポイント

特に味噌づくりシリーズは告知不足により参加者を多く募れなかった。チラシの配布先や SNS での配信方法などを再検討していく。



⑤ 異業種産業情報・交流を支援する事業

(サ) 事業内容

「うきさと茶でのまちづくりを考える交流会」と題して、無料映画観賞と茶葉料理ワーク

ショップ、茶葉を題材とした田舎型コミュニティづくりの意見交換会を行った。映画タイトルは「種まく旅人～みのりの茶～」。都会の女性が、退職をきっかけに大分の父の田舎へ旅をし、祖父のオーガニック茶畑を手伝い始め、最終的にその魅力に囚われ移住するに至るまでの田舎における自然との触れ合いや人間関係を描いたヒューマンドラマ。日本の田舎での暮らしや昔ながらの田舎コミュニティの実情、慣行農法と有機農法の間で葛藤する行政マンの姿と有機志向への時代の移り変わり、都会の人間が本来の自然さを取り戻す感動など、リアルに上手く描写されており、田舎型コミュニティを考える題材として適していると判断し採用した。(後援：農林水産省/大分県/臼杵市/大分市)

事務所の有る松阪市柚原町の農産物に無農薬茶があり、地域特産のお茶の美味しい入れ方や、料理の材料としての茶葉の可能性の研究として料理体験ワークショップを実施。体験の中でお茶から始めるまちづくりについて思いやアイデアを共有した。

環境保全の啓発活動の必要性を考え、日本の伝統林業の現場を見学し、第一次産業の現場の声を聞くことで環境への関心と共に意識を高めることを目的として実施した。市民団体時代よりの通算で2回目となる見学会開催であった。

重機で通って土を踏み固める事のない、人の足と架線を使って1本ずつ手間をかけて運び出す昔ながらの方法は、生き物にとって理想的な環境が維持され、豊かな広葉樹林が成長し、川が生まれるなど、多くの学びがあった。

お昼はたき火を囲んで交流し、焼き芋や牡蠣をヒノキで焼いた試食会を実施。林業に関する関心の高まりや、今後の生活の中での環境への考え方の変化が期待される。

(シ) 異業種産業情報・交流を支援する事業 他団体交流

(1) 開催日および講師等

| 事業名<br>(定款に記載した事業)            | 具体的な事業内容   | 実施日時               | 実施場所                  | 従事者の人数                      | (1)受益対象者の範囲<br>(2)人数                            | 事業費の額<br>(単位：円) |
|-------------------------------|--|--------------------|-----------------------|-----------------------------|---|-----------------|
| ⑤異業種産業情報・交流を支援する事業<br>(他団体交流) | 「うきさと茶でのまちづくりを考える交流会」にて無料映画観賞と茶葉料理ワークショップ、交流会を開催。お茶を題材とした田舎型コミュニティづくりについて意見交換を行った。 | 2019年<br>5月<br>12日 | 松阪市柚原町29番地<br>(当会事務所) | 4人<br>理事長<br>市川美奈<br>スタッフ3人 | (1)会員<br>(2)参加者数<br>11人<br>会員6人<br>一般3人<br>子供2人 | 3,910円          |

|                               |  |                    |                |   |   |         |
|-------------------------------|--|--------------------|----------------|---|---|---------|
| ⑤異業種産業情報・交流を支援する事業<br>(他団体交流) | 日本の伝統林業見学会を実施。農林漁業関係者が集って、日本古来の林業が環境に対し果たす役割を共有できた | 2020年<br>3月<br>22日 | 多気郡大台<br>町内の山林 | 4人<br>理事長<br>市川美奈<br>副理事長<br>市川真大<br>講師<br>会員1人<br>一般1人 | (1)会員<br><br>(2)参加者<br>23人<br>会員6人<br>一般15人<br>子供1人 | 16,417円 |
|-------------------------------|--|--------------------|----------------|---|---|---------|

## (2) 総費用 (無償ボランティア6人)

総合計 20,327円

(内訳)

### ●うきさと茶でのまちづくりを考える交流会

・仕入 (材料費) 3,273円

(地元茶葉は地域より無償提供)

・消耗品費 (事業) 432円

・通信運搬費 (事業) 205円

### ●日本の伝統林業見学会

・諸謝金 (事業) 10,860円

・広告宣伝費 (事業) 550円

・通信運搬費 (事業) 187円

・消耗品費 (事業) 3,980円

・保険料 (事業) 840円

## (3) 収益

総合計 54,500円

### ●うきさと茶でのまちづくりを考える交流会

・映画観賞参加費 0円 ( 0円 x 11人)

・茶葉料理ワークショップ・交流会参加費

一般 (中学生以上) 6,000円 (2,000円 x 3人)

会員 7,500円 (1,500円 x 5人)

小学生 1,000円 ( 500円 x 2人)

### ●日本の伝統林業見学会

・参加費 一般大人 (中学生以上) 30,000円 (2,000円 x 15人)

会員 6,000円 (1,500円 x 4人)

スタッフ 3,000円 (1,500円 x 2人)

小学生 1,000円 (1,000円 x 1人)

幼児 0円 ( 0円 x 1人)

#### (4) 反省点・改善ポイント

無料映画観賞会において、プロジェクターとスクリーンを使用する予定が、事前の動作チェックが甘くプロジェクターで視聴できず、急きょ大型パソコン用モニターでの視聴となった。

林業見学は人数が多く屋外での講義であったにもかかわらず、マイクを用意しなかったため、全体に声が通りにくかった。



#### ⑫管理事業

##### (ス) 事業内容

##### (1) 事務局用管理費

##### 1 総費用

総合計 98,571 円

(内訳)

管理費の内訳

|            |          |
|------------|----------|
| 印刷製本費 (管理) | 1,010 円  |
| 通信運搬費 (管理) | 25,227 円 |
| 消耗品費 (管理)  | 54,688 円 |
| 水道光熱費 (管理) | 32 円     |
| 賃借料 (管理)   | 5,160 円  |
| 広告宣伝費 (管理) | 9,648 円  |
| 租税公課 (管理)  | 2,600 円  |
| 支払手数料 (管理) | 206 円    |

## 2 収 益

総合計 289,977 円

(内訳)

|           |           |
|-----------|-----------|
| 受取入会金     | 22,000 円  |
| 正会員受取会費   | 113,000 円 |
| 団体・企業受取会費 | 0 円       |
| 寄附金収入     | 154,977 円 |
| 受取助成金     | 0 円       |
| 受取補助金     | 0 円       |
| 賛助会員      | 0 円       |
| 雑収益       | 0 円       |

## 3 会議の開催に関する事項

### (1) 総会

#### ア 通常総会

通常総会

##### ・開催日時及び場所

2019年4月14日 13時15分～13時30分

松阪市市民活動センター 外会議室

##### ・課題

- ①第1号議案 会員の状況と組織編成の状況
- ②第2号議案 令和元年度 事業計画（案）、収支活動予算（案）
- ③第3号議案 令和元年度 理事（案）について
- ④第4号議案 令和元年度 理事長互選（案）について
- ⑤第5号議案 令和元年度 組織運営・人事（案）について
- ⑥第6号議案 その他

### (2) 理事会

#### イ 理事会

第1回理事会

##### ・開催日及び場所

2020年3月28日午後5時30分～午後7時15分

本町プラザ 第1会議室（四日市市市民交流会館）

##### ・審議事項

第1号議案 2019年度 事業報告および決算報告について

第2号議案 2020年度 組織運営、役員選任（案）について



- 第 3 号議案 不動産購入、事務所移転、購入資金借入および管理人居住について
- 第 4 号議案 会員種別の変更案について
- 第 5 号議案 定款内容変更案について
- 第 6 号議案 2020 年度 事業計画（案）および収支予算（案）について
- 第 7 号議案 2021 年度 事業計画（案）および収支予算（案）について
- 第 8 号議案 第 2 回通常総会議案について
- 第 9 号議案 第 2 回通常総会プログラムについて
- 第 10 号議案 その他議案について